

「地球に還るストロープロジェクト」成果発表!!

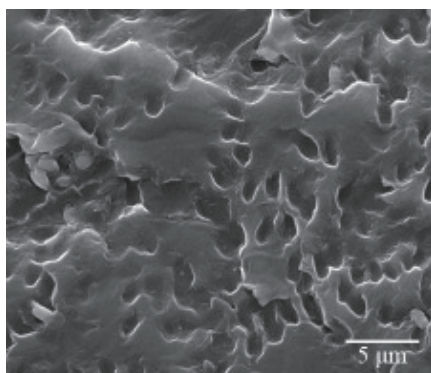
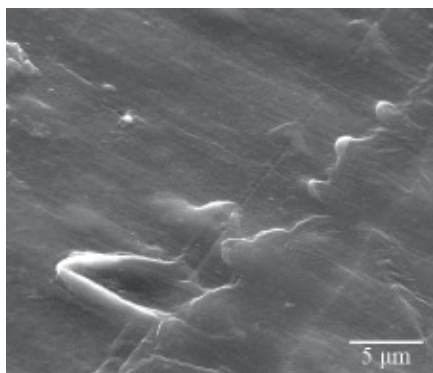
自然界に蓄積するプラスチックを分解!

西鎌倉小学校の土壌より新しいプラスチック分解菌（仮称：ニシカマエンシス）を発見



2022 年 10 月、西鎌倉小学校 6 年生と「微生物とは何か？」から始まり、微生物によるプラスチック分解の可能性を慶應義塾大学の宮本先生と学びました。そして、給食で使用している P-Life を添加したプラスチックストローを、西鎌倉小学校の花壇の土を使ったコンポストに埋めて、分解されるかの実証実験を行いました。

コンポストの土はその後、宮本先生の研究室に運ばれて調べたところ、なんと大発見があるかもしれないと報告会を行ったのが 2023 年 3 月。皆で、もし新しい微生物だったらどんな名前をつけようかと話し合いました。それから宮本先生はずっと研究を続けて…学会で発表できる大発見になりました!



P-Life 含有 PP ストローの表面の電子顕微鏡写真

(左) 無処理のストロー

(右) 微生物処理したストロー

ストロー表面に微生物による分解痕を確認できました。

この分解菌が新種かどうかは今も調査中ですが、皆で決めた「ニシカマエンシス」を仮称として名付けて、まだまだ研究を続けていきます。

宮本先生からのメッセージ

実証実験に用いた土壌から、「ニシカマエンシス（仮称）」を見つけることができました。皆さんとの実験が大きな発見へと繋がりました。この微生物は、ストローを分解することが確認できました。今後は、分解速度の向上や、他の種類のプラスチックへの応用を目指して研究を続けていきます。

慶應義塾大学 理工学部
教授 宮本憲二



鎌倉
市役所で
記者会見!



◀ 記者会見の様子

ニュース
記事▶

